

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公開番号】特開2007-18534(P2007-18534A)

【公開日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【年通号数】公開・登録公報2007-003

【出願番号】特願2006-258953(P2006-258953)

【国際特許分類】

G 06 F 11/20 (2006.01)

G 06 F 11/34 (2006.01)

【F I】

G 06 F 11/20 3 1 0 C

G 06 F 11/34 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月12日(2007.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の計算機で障害が発生した場合に業務処理を第2の計算機に切り替えて処理を継続する計算機システムの切り替え回復方法において、

前記第1の計算機で行われた参照処理の履歴を示す参照履歴と更新処理の履歴を示す更新履歴とを表すログ情報を前記第1の計算機から前記第2の計算機に送り、

前記送られたログ情報に従って、前記第2の計算機内の入出力バッファの内容を前記第1の計算機内の入出力バッファの内容に一致させる追跡処理を実施し、

前記ログ情報は、前記第2の計算機に送られた参照履歴が、前記第1の計算機の入出力バッファに存在していないデータへの参照処理の履歴を示すものであることを特徴とする計算機システムの切り替え回復方法。

【請求項2】

前記第1の計算機と前記第2の計算機で共用される記憶装置に前記ログ情報を出力し、前記追跡処理の行われたログ情報と前記第1の計算機から転送されたログ情報とが連続していない場合に、その間のログ情報を前記記憶装置から読み出し、その読み出したログ情報及び前記転送されたログ情報に従って、前記第2の計算機内の入出力バッファの内容を前記第1の計算機内の入出力バッファの内容に一致させることを特徴とする請求項1に記載された計算機システムの切り替え回復方法。

【請求項3】

第1の計算機で障害が発生した場合に業務処理を第2の計算機に切り替えて処理を継続する計算機システムにおいて、

前記第1の計算機で行われた参照処理の履歴を示す参照履歴と更新処理の履歴を示す更新履歴とを表すログ情報を前記第1の計算機から前記第2の計算機に送るログ転送処理部と、

前記送られたログ情報に従って、前記第2の計算機内の入出力バッファの内容を前記第1の計算機内の入出力バッファの内容に一致させる追跡処理を実施する追跡処理部とを備え、

前記ログ情報は、前記第2の計算機に送られた参照履歴が、前記第1の計算機の入出力

バッファに存在していないデータへの参照処理の履歴を示すものであることを特徴とする計算機システム。

【請求項 4】

前記第1の計算機と前記第2の計算機で共用される記憶装置に前記ログ情報を出力し、前記追跡処理の行われたログ情報と前記第1の計算機から転送されたログ情報とが連続していない場合に、その間のログ情報を前記記憶装置から読み出し、その読み出したログ情報及び前記転送されたログ情報に従って、前記第2の計算機内の入出力バッファの内容を前記第1の計算機内の入出力バッファの内容に一致させることを特徴とする請求項3に記載された計算機システム。

【請求項 5】

第1の計算機で障害が発生した場合に業務処理を第2の計算機に切り替えて処理を継続する計算機システムの切り替え回復方法をコンピュータに実行させる為のプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、

前記第1の計算機で行われた参照処理の履歴を示す参照履歴と更新処理の履歴を示す更新履歴とを表すログ情報を前記第1の計算機から前記第2の計算機に送り、

前記送られたログ情報に従って、前記第2の計算機内の入出力バッファの内容を前記第1の計算機内の入出力バッファの内容に一致させる追跡処理を実施し、

前記ログ情報は、前記第2の計算機に送られた参照履歴が、前記第1の計算機の入出力バッファに存在していないデータへの参照処理の履歴を示すものであるプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【請求項 6】

前記第1の計算機と前記第2の計算機で共用される記憶装置に前記ログ情報を出力し、前記追跡処理の行われたログ情報と前記第1の計算機から転送されたログ情報とが連続していない場合に、その間のログ情報を前記記憶装置から読み出し、その読み出したログ情報及び前記転送されたログ情報に従って、前記第2の計算機内の入出力バッファの内容を前記第1の計算機内の入出力バッファの内容に一致させるプログラムを記録したことを特徴とする請求項5に記載された記録媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】計算機システムの切り替え回復方法及びそのシステム並びにその処理プログラムを記録した記録媒体